Jabber 15.3
リリースノート

2026 年 9 月 16 日

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved

Cisco Public

関連文書

- Cisco Jabber 14.1(およびそれ以降)の計画ガイド
- Cisco Jabber 14.1(およびそれ以降)のオンプレミス展開
- Cisco Jabber 14.1(およびそれ以降)の機能構成
- Cisco Jabber 14.1 以降のパラメータ リファレンス ガイド
- Cisco Jabber 管理タスク
- Cisco Jabber ユーザーガイド

新しいビルド番号

Windows 版 Jabber

バージョン	ビルド番号
15.3.1	15.3.1.61358 ビルド 311358

Mac 版 Jabber

バージョン	ビルド番号
15.3.1	15.3.1.311358

ダウンロード URL: Install_Cisco-Jabber-Mac-15.3.1.311358-251028106-2UWI29gaMRqV9IG5FsyQTQysBvLBOCg1ldNMem9o556KTfajud+VjRxWah2dOKJvn9CbWa4TJxZUvzuRPDvlCQ==.zip

Jabber for iOS

バージョン	ビルド番号
15.3.1	15.3.1. 311358

Android 版 Jabber

バージョン	ビルド番号
15.3.1	15.3.1.311364

Jabber for VDI

バージョン	ビルド番号
該当なし	該当なし

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

新機能および更新済み機能

共通基準に対して最低 RSA 鍵長を 3072 ビットに強制する

15.3.1 でリリース済み。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	はい	はい

CNSA 1.0 準拠を満たすためには、共通基準が有効の場合、RSA キー長は少なくとも 3072 ビットでなければなりません。 RSA キー長を設定するには、『Cisco Jabber 12.5 向けオンプレミス導入ガイド』の *「Cisco Jabber デバイスを作成して構成する」* を参照してください。

15.3.1 で新たにサポートされている Android デバイス

ブランド	デバイスモデル	対応 OS バージョン	注記
Samsung	Galaxy S26 Ultra	Android 16 以降	
Zebra	HC25、HC55	Android 13	

ノイズ除去

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	はい	はい

ノイズ除去をオンにすると、ユーザー側で音声体験がより良くなります。 IT 管理者は、ユーザー用のデフォルト値を設定することもできます。

設定キー: **EnableNoiseRemoval**

ノイズ除去機能のデフォルト状態を設定します。 エンドユーザーは、アプリ設定から値を変更できます。

- true (デフォルト) - ノイズ除去が有効です
- false - ノイズ除去が無効です

仮想背景

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	はい	はい

ユーザーは、ビデオ通話時に背景をぼかしたり、背景を変更したり、好みの背景画像を追加したりできます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Config Key: **EnableVirtualBackground**

仮想背景機能の使用が許可されているかどうかを指定します。

- true (デフォルト) - 仮想背景は許可されています
- false - 仮想背景は許可されません。 背景のぼかし、Cisco が事前設定した画像、ユーザーがアップロードしたカスタム画像など、すべての機能が無効化され、アプリのユーザーインターフェイスから非表示になります。

注意:以下の設定キーは **EnableVirtualBackground** が true に設定されている場合にのみ有効になります。

設定キー: **EnableBlurVideoBackground**

ユーザー側で背景のぼかしオプションを表示するかどうかを指定します。

- true (デフォルト) - 背景のぼかしが許可されます
- false - 背景のぼかしは許可されません。

Config Key: **EnableVirtualBackgroundCiscoPreset**

ユーザーがアプリ設定で Cisco 提供の事前設定仮想背景画像を利用可能かどうかを指定します。

- true (デフォルト) - ユーザーは Cisco が事前定義した背景画像から選択できます
- false - これらの Cisco が事前設定した画像は、背景オプション 設定キー:

EnableVirtualBackgroundCustomerized に表示されません。

ユーザがカスタム画像を背景にアップロードできるかどうかを指定します。

- true (デフォルト) - ユーザーは、好みの背景画像をアップロード、管理 (追加、削除)、および適用できます。
- false - ユーザー側で、カスタム画像をアップロードしたり使用したりするオプションが表示されません

注:仮想背景には追加のシステム要件が必要です:

Windows

- オペレーティングシステム:Windows 11 64 ビット(x86-64 および AMD64)
- プロセッサ:
  - Intel Core 3、5 または 7 4000 シリーズプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Core 9 デュアルコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Xeon デュアルコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - その他の Intel プロセッサ:6 コア以上
  - AMD Ryzen 5、7、9 シリーズの 4 コア以上のプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - その他の AMD プロセッサ: AMD 組み込み G シリーズプロセッサを除き、3 GHz 以上で動作する 4 コアプロセッサ、または 4 コアを超えるプロセッサ

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

- メモリ: 8GB 以上の RAM
- GPU モード: Intel® HD グラフィックス ドライバー バージョン

26.20 以降 (Mac)

- オペレーティングシステム: macOS High Sierra (バージョン 10.13 以降)
- プロセッサ:
  - 4 コア以上の Apple シリコンプロセッサ
  - Intel Core i9 デュアルコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Core i7 5000 シリーズのデュアルコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Core i7 3000 シリーズのクアッドコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Core i5 6000 シリーズのデュアルコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル
  - Intel Core i5 3000 シリーズのクアッドコアプロセッサ、またはそれ以降のモデル

iOS

- デバイスのモデル:
  - iPhone 12 以降
  - iPad 第 8 世代以降
  - iPad Air 第 4 世代以降
  - iPad Pro 第 4 世代以降
  - iPad mini 第 5 世代以降

Android

- オペレーティングシステム: Android 64 ビット
- デバイスのモデル:
  - Google Pixel 5、Pixel 6、Pixel 7
  - Samsung Galaxy S20、S21、S22、S23、S24、S25、S26 Ultra
  - Samsung Galaxy XCover6 Pro、XCover7 Pro
  - Samsung Galaxy A54 5G
  - Samsung Galaxy Tab Active 5
  - Samsung Galaxy Tab S8+ / S8 Ultra
  - Samsung Galaxy Tab S10 FE / S10+ / S10 Ultra
  - 8 コア以上の同等のプロセッサを搭載した他のデバイス
- メモリ: 8GB 以上の RAM

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

(プレビュー) CMS Web クライアントをクロス起動してミーティングに参加する

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	はい	はい

CMS Web クライアントをクロス起動すると、ユーザーは、CMS ミーティングに参加でき、ノイズ除去などの高度な AI 機能を利用できます。 デフォルトの動作は、Jabber 内の CMS ミーティングに参加することです。

Config Key: **EnableCrossLaunchCMSWeb**

Jabber クライアントが、CMS Web App をクロス起動すべきかどうかを指定します。

- true - CMS Web クライアントを、クロス起動して、CMS ミーティングに参加します。
- false (デフォルト) - Jabber 内で CMS ミーティングに参加します。

Config Key: **CMSVideoAddressDomains**

CMS ビデオアドレスドメインのリストを指定します。 これらは CMS Web Admin で設定し、CMS Web App で表示できます。 複数のドメインがある場合は、セミコロンで区切ってください。

例：

<CMSVideoAddressDomains>CMSSipDomain1.com;CMSSipDomain2.com</CMSVideoAddressDomains>

Config Key: **CMSWebAdminHostNamesAndPorts**

CMS Web Admin ホスト名とポートの一覧を指定します。 複数のエントリがある場合は、セミコロンで区切ってください。

例：

<CMSWebAdminHostNamesAndPorts>CMSHost1.com:port1;CMSHost2.com:port2</CMSWebAdminHostNamesAndPorts>

注 1: この機能には CMS 3.13 以降が必要です。

注 2:CMS は Jabber ユーザ認証をサポートするバージョンをリリースしていないため、プレビュー機能です。

Jabber for iPhone および iPad: Liquid Glass デザインに対応

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
不可	不可	はい	不可

Jabber は、iOS 26 の Liquid Glass デザイン言語に対応しているため、ユーザーは、ネイティブアプリ体験を得られます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Jabber for Mac: Outlook カレンダーとの CMS ミーティングの統合

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	不可	不可

Windows に続き、ユーザーは Cisco Jabber カレンダーやポップアップミーティング通知から直接会議に参加でき、Outlook で CMS Web リンクをクリックする必要はありません。

ユーザが Cisco Jabber カレンダーの「参加」ボタンやポップアップをクリックすると、CMS のウェブアプリが自動的に会議 URL を開きます。

この機能を有効にするには、Jabber の設定ファイルに CMS のミーティングドメインを追加する必要

があります: キー名: **CMSMeetingDomains**

キーの値: CMS のミーティングドメインのリストを指定します。 複数のエントリがある場合は、セミコロンで区切ってください。

例：

<CMSMeetingDomains>CMSDomain1.com; CMSDomain2.com</CMSMeetingDomains>

Jabber for Windows: msiexec コマンドラインを使用して Jabber-bootstrap.properties で LOGIN_HINT を設定できるサポート

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	不可	不可	不可

管理者が、jabber-bootstrap.properties で LOGIN_HINT を構成したら、msi コマンドを使用して、ブートストラッププロパティの値が事前指定された状態で Jabber をインストールできます。

例：

Jabber をインストールし、CUP および Login Hint を設定する:

- msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi CLEAR=1 AUTHENTICATOR=CUP CUP_ADDRESS=x.x.x.x LOGIN_HINT=ID@<domain>

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

CMS 空間名における特殊文字「<」のサポート

15.3 でリリースされました。

Windows	MAC	iPhone および iPad	Android
はい	はい	はい	はい

Jabber は、「<」を含む CMS 空間名からの着信通話を受信できます。

Config Key: **EnableAngleBracketInDisplayName**

Jabber クライアントが CMS 空間名で、「<」文字を許可すべきかどうかを指定します。

- true - Jabber は、「<」を含む CMS 空間名からの着信通話を受け付けます。
- false (デフォルト) - Jabber は、解析エラーのため「<」を含む CMS 空間名からの着信通話を拒否します。

15.3 で新たにサポートされた Chromebook デバイス

ブランド	デバイスモデル	対応 OS バージョン	注記
ASUS	CX3402CV	Chrome OS 148 以降	

15.3 で新たにサポートされている Android デバイス

ブランド	デバイスモデル	対応 OS バージョン	注記
Samsung	A56	Android 15 以降	
Samsung	A57	Android 16 以降	

サポートされているオペレーティングシステムの要件

Windows

次のオペレーティング システム上に Windows 版 Cisco Jabber をインストールできます。

- Microsoft Windows 11 （デスクトップ モード）
- Microsoft Windows 10 （デスクトップ モード）

Windows 版 Cisco Jabber は、MicrosoftNET Framework または Java モジュールを必要としません。

重要なお知らせ: 次回の Jabber メジャーリリース以降、Jabber は Windows 10 の 32 ビットデバイスでサポートされません。 Jabber 15.3.x は Windows 10 32 ビットシステムをサポートする最後のバージョンとなります。

macOS

Mac 版 Cisco Jabber は、次のオペレーティング システムへインストール可能です。

- macOS Golden Gate 27
- macOS Tahoe 26
- macOS Sequoia 15

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Android

最新の Cisco Jabber for Android リリースは Android OS 11 以降でサポートされています。
重要なお知らせ #1: 次回の Jabber メジャーリリース以降、Jabber は、Android 11 または 32 ビット Android デバイスでサポートされません。 Jabber 15.3.x は、32 ビットシステムと Android OS 11 をサポートする最後のバージョンとなります。

重要なお知らせ #2: Jabber 15.3.1 以降、Jabber は Android Auto および Wear OS/Android ウェアラブルデバイスをサポートしません。

iOS および iPadOS

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber の最新バージョンでは、iOS および iPadOS の最新バージョンのみをサポートします。

重要なお知らせ: 次回の Jabber メジャーリリース以降、Jabber は Apple Watch/watchOS をサポートしません。

サポートされるデバイスの要件

対応 Android デバイス

ブランド	デバイスモデル	対応 OS バージョン	注記
Ascom	マイコ 4 スリム	Android OS 14	
ハネウェル	EDA57	Android OS 12.0	
Google	Pixel 2/Pixel 2 XL	Android OS 11.0 以降	Jabber Call 中に、ユーザーが、音声をモバイルデバイスからハンドセットに切り替えると、数秒間、音声に問題が発生することがあります。
	Pixel 3/Pixel 3 XL	Android OS 11.0 以降	ユーザが接続されたヘッドセットを電話で使用すると、数秒間音声に問題が生じることがあります。
	Pixel 4/Pixel 4 XL	Android OS 11.0 以降	
	Pixel 4a 5G	Android OS 11.0 以降	
	Pixel 5	Android OS 11.0 以降	
	Pixel 6/Pixel 6 Pro	Android OS 12.0 以降	
	Pixel 7/Pixel 7 Pro	Android OS 13.0 以降	
Nokia	ノキア 8.1	Android OS 11.0 以降	
OnePlus	6/6T	Android OS 11.0 以降	
	7T	Android OS 11.0 以降	
	8/8 Pro/8T	Android OS 11.0 以降	
Samsung	S10/S10 +	Android OS 11.0 以降	
	S20/S20 +/S20 ウルトラ	Android OS 11.0 以降	
	S21/S21 +/S21 ウルトラ	Android OS 12.0 以降	
	S22/S22 +/S22 ウルトラ	Android OS 12.0 以降	
	S24+/S24 ウルトラ	Android OS 14.0 以降	
	S25+/S25 ウルトラ	Android OS 15.0 以降	
	S26 Ultra	Android OS 16.0 以降	
	Note 10/Note 10+	Android OS 11.0 以降	
	Note 20/Note 20+	Android OS 11.0 以降	
	A51/A52	Android OS 11.0 以降	
	A53	Android OS 13.0 以降	
	A54	Android OS 13.0 以降	
	A56	Android OS 15.0 以降	
	A57	Android OS 16.0 以降	

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

ブランド	デバイスモデル	対応 OS バージョン	注記
	Xcover 5	Android OS 12、13、14	通話接続時、ユーザー側で短時間音が聞こえなくなることがあります
	Xcover 6 Pro	Android OS 13 および 14	
	Xcover 7	Android OS 14 および 15	
	Xcover 7 Pro	Android OS 15	
シャープ	アクオス SH-M210	Android OS 11.0	
Sony	Xperia 5 Mark II	Android OS 11.0 以降	
Xiaomi	Mi 10	Android OS 11.0 以降	
	Mi 10 Ultra	Android OS 11.0 以降	
Zebra	HC25	Android OS 13	
	HC55	Android OS 13	

サポートされている Chromebook モデル

Chromebook に Chrome OS v53 以降が搭載されている必要があります。 Android 版 Cisco Jabberは、Google Play ストアからダウンロードすることができます。

- ASUS Chromebook Flip C302
- ASUS Chromebook Flip C434（i5-8200Y 搭載）
- ASUS Chromebook CX3402CV (Chrome OS 148 以降搭載)
- Dell Latitude 5400（i5-8265U 搭載）
- HP Chromebook 13 G1 ノートブック PC
- Google Chromebook Pixel
- Google Chromebook Pixelbook
- Samsung Chromebook Pro

サポートされている iPhone および iPad デバイス

Jabber は、以下の Apple デバイスをサポートしています。

Apple デバイス	モデル
iPhone	SE (第 2、 第 3 世代)、11、12、13、14、15、16、17 および iPhone Air
iPad Pro	11 インチ、第 1、第 2、第 3、第 4 世代の 11 インチ (M4、M5) 12.9 インチ、第 3、第 4、第 5、第 6 世代 13 インチ(M4、M5)
iPad Air	Air 第 3 世代、第 4 世代、第 5 世代 Air 11 インチ (M2、M3、M4) および 13 インチ (M2、M3、M4)
iPad mini	mini (第 5、第 6 世代)、mini A17 Pro (第 7 世代)

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Apple デバイス	モデル
iPad	第 7 世代、第 8 世代、第 9 世代、第 10 世代

制約事項

すべてのクライアント(Windows/Mac/iOS/Android/VDI)の制限事項

選択的録音

ユーザー A とユーザー B の間で、共有回線が構成されている場合、これらのユーザー間での通話では、選択的録音は機能しません。

Jabber for Windows の制限

これらの制限は Jabber for Windows クライアントに適用されます。

すべての展開における制限

これらの制限は、すべての Windows 版 Jabber 展開に適用されます。

スクリプトによるペースト操作を許可

Jabber バージョン 11.8.5 以降では、[Windowsコンポーネント]**>** [Internet Explorer] **>** [インターネットコントロールパネル] **>** [セキュリティページ] **>** [インターネットゾーン] の順に選択し、ポリシーである **[スクリプトを使用して貼り付け操作を許可する]**が、Internet Explorer で無効になっている場合、コピー/貼り付けで問題が発生する場合があります。

プロキシの自動検出設定 (WPAD)

Cisco Jabber は、Web プロキシ自動発見 (WPAD) プロキシ検出をサポートしていません。 Cisco Jabber のプロキシ設定を構成する方法については、『Cisco Jabber のオンプレミス導入ガイド』の「プロキシ設定の構成」を参照してください。

Cisco Headset 56x は、Bluetooth 接続に対応していません

Cisco Jabber では、モデル 56x Cisco ヘッドセットで Bluetooth の使用がサポートされていません。 これらのヘッドセットは、USB-C から USB コネクタケーブルに使用できます。

通話転送

サードパーティーへの着信を転送する場合は、転送を完了する前にサードパーティが着信に応答する必要があります。 現在、コールの接続待機中にサードパーティにダイヤルしてファーストパーティーと接続 (ブラインド転送とも呼ばれます) することはできません。

リリース 12.7(1) より前では、Cisco Jabber は、転送中のコールが保留中であることを Unified Communications Manager に正しく通知しません。 この動作によって、Jabber を Cisco Finesse と併用すると、誤ったレポートが生成されます。

シャッター付きのカメラ

Cisco Desk Camera 1080p のようなシャッター付きカメラでは、Jabber はビデオ コール中にカメラを使う際

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

のシャッターの閉開操作をサポートしていません。

通話中にユーザーが、5 秒以上カメラシャッターを閉じて、再度開いた場合、映像は元に戻りません。

ユーザーが、通話発信前にカメラシャッターを閉じた後に、通話中にシャッターを開くと、映像が使用できない場合があります。

画像をコピーできません
Jabber での会話のイメージ上で右クリックし、コピーを選択することはできません。 代わりに、イメージを強調表示し、右クリックしてコピーします。

チャット返信とボイスメール プロファイルなし
ボイスメール プロファイルが設定されていない場合、チャットの返信機能は機能しません。 チャット返信を着信呼び出しで選択した場合、コールの着信音が引き続き鳴り、リング、チャット返信、答えオプションがグレー表示されます。 CSCux75667 では、この制限を文書化しています。

MRA への移行中のチャットの動作
Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。 この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

Cisco AnyConnect Secure Mobility Client
Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco AnyConnect セキュリティで保護されたモビリティ クライアント バージョン 4.0 以降をサポートしています。 CSCux14721 では、この制限を文書化しています。

Cisco IP Communicator
Cisco IP Communicator は、ユーザがコールにデスクフォンを使用することを選択した場合、Jabber 上の制御対象デバイスとしてサポートされません。

Cisco Unity Connectionディスパッチ メッセージ
Cisco Unity Connection でディスパッチ メッセージの配布リストにメッセージと共に送信、このような方法で構成されている 1 つだけユーザーがそのメッセージに応答します。 ユーザは承諾、拒否、またはディスパッチ メッセージを延期することができます。 Windows 版 Cisco Jabber は、Cisco Unity Connection ディスパッチ メッセージをサポートしていません。 CSCux31908 では、この制限を文書化しています。

エンタープライズ グループの連絡先解決
Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に 1 つずつ解決します。 結果として、エンタープライズ グループをユーザの連絡先リストに加える際–または、ローカル キャッシュを消去する場合–その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

連絡先のグループへのメール
連絡先グループに、メールを送信する際、[To] フィールドの文字制限は、2083 文字までです。 電子メールアドレスが長い場合や、受信者が多い場合は、すべての連絡先が電子メールに追加されるとは限りません。 2083 文字の制限の詳細については、https://support.microsoft.com/en-ie/kb/208427 を参照してください。

エクステンションモビリティ
Jabber は、クラスタ間のエクステンション モビリティ (EMCC) 機能をサポートしていません。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

エクステンション モビリティを使用したデバイス名

エクステンション モビリティが有効になっている場合、Jabber の制御対象デバイスメニューには、電話機のタイプとユーザ名ではなく、電話機のタイプのみが表示されます。

サイレント（DND）

Jabber がデスクフォンを制御していない場合、サイレント（DND）がデスクフォンに設定されていると、Jabber クライアントのプレゼンス ステータスは変更されません。

この現象は、Jabber クライアントが設計どおりに機能していることを示します。 ユーザの操作は必要ありません。

HTML サニタイズ コード

Jabber HTML サニタイズ コードは、フィッシング攻撃の潜在的な乱用に対するため、XMPP メッセージ ペイロードの「マスクされた」リンクを許可しないように変更されています。 セキュリティ上の理由から、これらのリンクは許可されなくなりました。

Jabber の管理者が、この機能拡張によって影響を受ける可能性のある潜在的なユーザを教育するようお勧めします。

IBM Notes の連絡先検索

BM Notes の連絡先を検索するとき、検索文字の 1 つ目に 」または \ を入力すると、正しい連絡先を見つけることができません。

Jabber の設定変更検出のループのシナリオ

UC サービスと電話機ページ / 共通電話機プロファイル用グループ設定ファイルで Jabber 設定プロファイル（jabber-config.xml）を割り当てて、その後高速ログインが有効な場合に Jabber 設定プロファイルを UC サービスから削除すると、Jabberの「設定変更検出」ループが発生する場合があります。 このシナリオでは、UC Service から Config プロファイルを削除すると、設定変更検出ループがトリガーされます。

回避策: 高速ログインを無効にする (『Cisco Jabber の計画ガイド』を参照)。

Jabber 間通話と Symantec ホスト IDS (HIDS)

Jabber 間通話は、Symantec HIDS のエラーをトリガーできます。

Symantec HIDS は、同じインターネット ベースのサーバから 200 秒以内に 5 回の接続要求を受信した場合、インターネット ベースのサーバからの接続を無効にします。 たとえば、200 秒以内に 3 回の Jabber 間通話が Symantec HIDS をトリガーします。 このとき、進行中の Jabber 間通話が削除され、600 秒の Jabber 間通話は無効になります。

このシナリオを回避するには、Cisco Jabber を Symantec 例外リストに追加する必要があります。 この現象については、CSCuw32007 を参照してください。

ミーティング番号によるミーティング参加

Cisco Webex Meeting サーバを使用している導入では、Webex での参加時にミーティング番号を使用することはできません。 代わりにミーティング URL を使用します。

Jabber からの Webex ミーティングへの参加

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。 この制限は、会議リマインダポップアップからの参加、または Jabber での Webex の参加の選択のいずれかに適用されます。

Unified Communications Manager 12.5 (1) SU2 を使用した LDAP 資格情報配信

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Unified Communications Managerリース 12.5 (1) SU2 では、暗号化された LDAP 資格情報をサービスプロファイルに安全に渡すためのサポートが追加されています。 この更新プログラムは、常に暗号化された形式でパスワードを保存し、送信することによって、ディレクトリへのアクセスを保護します。 この変更には、ディレクトリアクセス認証、クライアント設定ファイルのダウンロード、BAT インポート/エクスポート、アップグレード時の暗号化が含まれています。

この統一された CM リリース以降の Jabber 12.8 では、エンドユーザ認証の後、ユーザプロファイルの一部として LDAP 資格をダウンロードすることによってこの機能を利用します。

Jabber 12.7 およびそれ以前のこの統一された CM リリース以降では、これらの資格情報をサービスプロファイルから使用することはできません。 これらは、暗号化されたパスワードを Active Directory に渡し、それによって接続の障害が発生します。 アップグレード済みの Unified CM を使用した Jabber リリースでは、ここに記載されているように jabber-config ファイルを使用して LDAP 資格情報を指定します。

詳細については、『Cisco Jabber の計画ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager のリリースノート」および「IM and Presence Service、リリース 12.5(1) SU2」および LDAP サービスアカウントに関する項を参照してください。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

場所の機能、複数ドメインのサポート

ここで次のような導入シナリオを検討します。

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service のノードを展開すると、すべてのユーザーが単一ドメインのサポートにインポートされました。 後でアドレス スキームをディレクトリ URI (複数ドメイン対応) に変更しました。

現在地機能は、新しく追加されたドメインユーザに対しては機能しなくなります。 最初のドメイン内のユーザーは影響を受けません。 CSCuu63734 はこの制限を文書化しています。

ロジクール キーボード表示の変更

Logitech UC キーボード K725-C の内蔵ディスプレイには、着信コールの発信者やデバイスの情報は表示されません。 代わりに、シスコ ロゴが表示されます。

会議のリマインダ

Cisco Jabber は、Cisco Webex Meetings のみのポップアップ リマインダを表示します。 Cisco Webex Meetings のリマインダは表示されません。

Webex ミーティングの URL を変更した場合（たとえば、URL をフィルタするソフトウェアで）、ミーティングアラームまたは [ミーティング] タブから会議に参加しようとしても失敗します。 この現象については、CSCux03658 を参照してください。

Microsoft Outlook のローカル連絡先とプレゼンス

ユーザーのプレゼンスは、Microsoft Outlook 2010 および 2013 の連絡先に手動で連絡先を追加する場合、SMTP の電子メール アドレス タイプのローカル（カスタム）連絡先に連絡先を追加する場合は不明です。 この問題を解決するには、連絡先を削除して手動で追加し直し、メールアドレスの種類がExchange（EX）であることを確認します。 CSCuo57172 はこの制限を文書化しています。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Microsoft Outlook OST ファイル

断続的に Windows 版 Cisco Jabber は Microsoft Outlook OST ファイルにアクセスできません。 この問題を解決するには、Jabber を再起動し、Outlook を再起動します。

マルチライン

Cisco Jabber は、どの回線からもコールを発信できませんが、別の回線で着信コールが鳴ります。 別の回線が鳴っている間、緑色の発信 (Call)ボタンはグレー表示され、使用できなくなります。 ユーザは、着信コールが停止するのを待つか、または着信コールを拒否できます。

転送ファイル名の 168 バイトの制限

ファイルを転送する際、ファイル名は拡張子を含めて 168 バイトを超えてはなりません。 制限より長い名前のファイルを送信しようとすると、168 バイトを超えたことが通知されます。

Microsoft Lync 電話モード展開

Microsoft Lync と同じコンピュータの電話モードで Windows 版 Cisco Jabber を展開する場合、クリック -x (Click-to-x) の機能を無効にします。 CLICK2X インストーラースイッチの詳細については、デプロイメントガイドの「共通インストール引数」セクションをご覧ください。

Plantronics 製アクセサリおよびソフトウェア

Cisco Jabber コール管理に Plantronics アクセサリを使用し、Plantronics Hub をインストールしている場合は、少なくともバージョン 3.5 がインストールされていることを確認してください。 プラントロニクスのウェブサイトからプラントロニクス ハブ 3.5 をダウンロードします。

Sharepoint 2016 のプレゼンス インジケータ

Jabber からサインアウトすると、存在インジケーターのバブルがグレーアウトし、ジャバーにサインインした後もリフレッシュされません。

この現象は、Web ページを更新することで解消できます。 これによって、正確なプレゼンス情報が表示されることを確認します。

Real-Time Transport Control Protocol（RTCP）

Jabber は無効にされても RTCP パケットを送信します。 RTCP は Jabber テレフォニー サービスの統合コンポーネントです。

モバイルおよびRemote Accessを介したリモート デスク トップ制御

モバイルおよび Remote Access を介したリモートデスク トップ制御はサポートされていません。
この制限については、CSCuz19139 を参照してください。

電話会議中の参加者の削除

VDI 以外の展開でコールにソフトフォン (CSF) デバイスを使用して通話する場合にのみ、電話会議から参加者を削除できます。 デスク フォン制御モードまたは拡張を使用して接続している場合は、電話会議から参加者を削除できません。

SAML シングル サインオンの制約

Cisco Unified Communications Manager server で SAML SSO を構成する際は、IP アドレスではなく、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用して、サーバー名を定義します。IP アドレスを使用する場合は、クライアントで証明書が有効でない旨が記載された警告メッセージが表示されます。 FQDN を使用する必要があるのは、

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

組み込みの Internet Explorer ブラウザーでは、証明書の Subject Alternative Name (SAN) に記載された IP アドレスを検証できないためです。

同じ理由で、Cisco Unity Connection server で SAML SSO を構成する場合は、Cisco Unified Communications Manager Service Profile で IP アドレスではなく、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用して、サーバー名を定義します。IP アドレスを使用する場合は、クライアントで証明書が有効でない旨が記載された警告メッセージが表示されます。

電話専用モードで会議のスケジュールボタンを無効にする

Outlook がインストールされ、MacCalendarIntegrationType パラメータが [Outlook] に設定されている場合、[ミーティングをスケジュール] ボタンが表示されます。 ただし、電話専用モードでは、ボタンは表示されません。

シングル ナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control（VCS）では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよびRemote Accessで Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングル ナンバー リーチを有効にする必要があります。 詳細については、『Cisco Jabber 12.0 向け機能設定ガイド』の「Single Number Reach を有効にする」項、「制限事項」を参照してください。

認証情報の空白文字

空白文字および認証情報には、次のルールが適用されます。

- ユーザー名は、社内の展開内のスペースを含めることができます。
- オンプレミス展開のユーザー名の最初と最後の文字はスペースにできません。 この規則は、ディレクトリソースから同期されたユーザー名にも当てはまります。
- クラウドベースの展開で、ユーザ名にはスペースを含めることはできません。
- どの展開シナリオでも、パスワードにスペースを含めることはできません。

Standard CTI Secure Connection ユーザ グループ

Windows 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security(TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Windows 版 Cisco Jabber ユーザは、標準 CTI セキュア接続ユーザグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。 この制約については、CSCux83786 を参照してください。

Cisco Jabber のユーザ ID /電子メールアドレスでサポートされている文字

次の文字は、Cisco Jabber ユーザ ID/メール アドレスでサポートされます。

- 大文字 (A ~ Z) および小文字 (a ~ z) 文字
- 数字（0 ～ 9）
- ピリオド (.)
- ハイフン（-）
- アンダースコア（_）
- チルダ（~）

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

TIFF イメージは未対応

このリリースでは、ユーザがアバターとしてtiff 画像を持っている場合、Jabber は代わりにデフォルトのアイコン画像を表示します。 個人アバターを使用するには、ユーザーは、jpg、bmp または png 形式などサポートされている形式で画像をアップロードする必要があります。

クリック-X 機能を Microsoft Outlook の連絡先を使用してください。

UDS をディレクト リソースとして使用する場合、ユーザーは、Click-To-Call や Click-To-IM などのClick-To-X 機能のみを使用して、既にキャッシュ ファイルにある Microsoft Outlook ユーザに連絡できます。 ユーザの Cisco Jabber 連絡先リストに含まれているか、ユーザが以前に検索、IM、呼び出しを行ったり、音声メッセージを残したりして作成した Cisco Jabber 履歴がある場合、キャッシュ ファイルが作成されます。

BIB を使用した VAD

BIB が有効になっている場合、Jabber は、上流デバイスで有効になっている VAD をサポートしません。

上流デバイスが VAD を有効にした場合、BIB が有効な Jabber は 2 つのフォークされた録音ストリームを同期しません。

ユーザは録音サーバ内で音声が乱れているのを聞くことがあります。

ビデオ コール

[ビデオを開始] ボタンは、通話が接続されてすぐに動作しません。 ユーザは通話を開始してから約 6 秒間を待ってから、 [ビデオの開始（Starrt My Video）] ボタンをクリックする必要があります。 この現象については、CSCuz06415 を参照してください。

サインイン時のボイスメール クレデンシャル ポップアップ

ハイブリッド導入では、Webex Messenger、Call Manager および Unity 接続のすべでて SSO が有効になります。ボイスメール資格情報が前もってクラウドに保存されている場合、ユーザーがサインイン中に、ボイスメールに関する [資格情報を更新] ポップアップが表示される場合があります。 回避策は、クラウドサーバ上でボイスメールサーバのアドレスを設定するのではなく、サービスプロファイルや jabber-config.xml ファイルでのみ設定することです。

Cisco 700 シリーズヘッドセットを使用した Windows 10 のクラッシュ

Cisco 700 シリーズのヘッドセットを使用すると、Windows OS のクラッシュ (ブルースクリーン) が発生することがあります。 これは、Windows 10 バージョン 1803 以前のバージョンで発生します。 この問題を修正するには、新しいバージョンの Windows 10 に更新してください。

オンプレミス展開の制限

これらの制限は、Windows のオンプレミスの展開用 Jabber に適用されます。

フェデレーテッドの連絡先の追加

フェデレーテッド連絡先を追加する場合、カスタム連絡先ではなく、会社の連絡先としてフェデレーテッド連絡先を追加することを推奨します ([ファイル] **>** [新規] **>** [連絡先])。 カスタムの連絡先としてフェデレーションからの連絡先を追加する断続的な存在の問題が発生することができます。 この問題については、CSCuz59060 を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザー向けデバイスを作成している場合、[RSAのみ]、

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

[ECのみ]、[EC優先]、[RSAバックアップ]などのキー順序を指定できるようになっています。 ただし、[ECのみ]オプションは現在、Cisco Jabber ではサポートされていません。このオプションを選択すると、クライアントは、サーバーに接続できません。

複数リソースのログイン

ユーザーがクライアントの複数のインスタンスに同時にサインインすると、チャット機能はオンプレミス展開で次のように動作します（一般的な展開シナリオでの複数リソースログインの詳細）。

- あるクライアントでサインインすると、他のクライアントでカスタムの可用性状態が「使用可能」に変わります。
- 通話中にアベイラビリティ状態を「通話中」から別の状態に設定した場合、アベイラビリティ状態は、以降の通話の「通話中」に自動的に変更されません。

電話プレゼンス用の SIP トランク

リリース 11.5(3) から Cisco Jabber ユーザー電話の存在を確認する場合、Cisco Unified Communications Manager and IM and Presence Service 間の SIP トランクを構成する必要があります。 以前のリリースでは、電話の存在にSIPトランクは必要ありませんでした。 この制限は CSCuz85578 に記載されています。

Sennheiser プラグインに関するポート競合

Sennheiser プラグインを使用するコール制御は、デフォルトでポート 8001 を使用します。 別のアプリケーションがこのポートを使用すると、問題が発生する場合があります。

この回避策として、EPOS SDK のポート番号パラメータを適切なファイル内の別のポートに変更することができます。

- Windows–%LOCALAPPDATA%\Sennheiser\SDKCore\PDS\config.dat
- Mac–/Library/Application Support/Sennheiser/SenncomSDK/secomSFSDK.dat

注: これらのファイルの詳細については、ゼンハイザーにお問い合わせください。

Jabber をシャットダウンしてから、SDK のポートを変更します。 次に、ポートを変更した後に Jabber を再起動します。

Jabber for Mac の制限事項

これらの制限は、Mac 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての Mac 版 Jabber の展開に適用されます。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。 この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

macOS 10.15 の新しい認定要件

Apple では、macOS 10.15 において、信頼できる証明書に関する新しい要件があります (https://support.apple.com/en-us/HT210176 を参照)。 Unified Communications Manager、IM and Presence Service、Expressway サーバーの証明書が、これらの要件を満たしていることを確認します。 証明書がこれらの要件を満たしていない場合、セッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。

Webex サイトに関する免責事項

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。 この制限は、会議リマインダーのポップアップから参加する場合も、Jabber で Webex で参加を選択する場合にも適用されます。

シングル ナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control（VCS）では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよびRemote Accessで Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングル ナンバー リーチを有効にする必要があります。 詳細については、『Cisco Jabber 12.0 向け機能設定ガイド』の「Single Number Reach を有効にする」項、「制限事項」を参照してください。

チャットを Microsoft Outlook に保存

Outlook 2016 を使用すると、Outlook はチャットで送信された画像を保存しません。 ただし、Outlook では、チャットに絵文字が保存されます。

アップグレード後のオーディオ デバイスの設定

ユーザーがクライアントをアップグレードすると、選択しているオーディオデバイスのリセットが発生します。 この問題を解決するには、[オーディオ/ビデオ設定] ウィンドウでオーディオデバイスを設定します。 CSCva48136 では、この制限を文書化しています。

ウイルス対策

アンチウイルス ソフトウェアを導入しているデバイス上の Cisco Unity Connection にクライアントが接続すると、ボイスメール接続で問題が発生する可能性があります。 この問題を解決するには、アンチウイルス ソフトウェアの例外リストに Cisco Unity Connection サーバー情報を追加します。

共通アイデンティティ ユーザ

共通アイデンティティに移行した一部のユーザの Cisco Jabber へのサインインに関して既知の問題があります。 ユーザーがユーザー名とパスワードを入力した際に、誤ったユーザー名やパスワードに関するエラーメッセージが表示された場合は、https://cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false でナレッジベースの記事を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できるようになりました。

- RSA のみ
- EC のみ

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

- EC 優先、RSA バックアップ

ただし、Cisco Jabber は、[ECのみ] のオプションをサポートしていません。 これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

CTI の接続のための証明書の検証

Cisco Jabber は、CTI 接続に証明書の検証を使用します。 証明書の署名には、パブリック CA、またはプライベート CA の使用をお勧めします。

自己署名証明書を使用して Cisco Unified Communications Manager に接続すると証明書検証で障害が発生します。この問題を解決するには次のいずれかを行います。

- 最初の証明書検証で失敗したときに無効な Cisco Unified Communications Manager の自己署名証明書をユーザが承認すると、Cisco Jabber が信頼ストアにこの証明書を保存します。
- 証明書導入管理アプリケーションを使用して、証明書をデプロイします。

Expressway for Mobile and Remote Access 導入

Expressway for Mobile and Remote Access 導入の場合、オンライン証明書状態プロトコル (OCSP) またはオンライン証明書失効リスト (CRL) を使用して、証明書状態を検証する際、Cisco Jabber では、応答時間が 5 秒未満であることが想定されています。 接続は、応答時間が 5 秒を超えた場合、失敗します。

オーディオまたはビデオ通話での Cisco Jabber を使用時のネットワーク切断

DSCP が有効な場合、Mac OS でネットワーク インターフェイスのドロップが断続的に発生するという既知の問題があります。 この問題に遭遇した場合は、次の操作を実行します。

1. [基本設定] > [通話] > [詳細] の順に選択します。
2. [通話の差別化サービスを無効にする] をオフにします。

Standard CTI Secure Connection ユーザ グループ

Mac 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security (TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。 そのため、Mac 版 Cisco Jabber ユーザは、Standard CTI Secure Connection ユーザグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に 1 つずつ解決します。 エンタープライズ グループをユーザの連絡先リストに追加するか、または自分のローカル キャッシュをクリアすると、最初は各ユーザのユーザ名とドメインのみが表示されます。 その他の情報は、次にマウス オーバーするか、人と対話するときに表示されます。

Bluetooth 接続を Cisco ヘッドセット 56x 使用する場合、サポートされません

Cisco Jabber では、モデル 56x Cisco ヘッドセットで Bluetooth の使用がサポートされていません。 これらのヘッドセットは、USB-C から USB コネクタケーブルに使用できます。

Poly ヘッドセットプラグインが削除されました

Cisco Jabber for Mac 12.8 では、Poly ヘッドセットプラグインが削除されました。 プラグインが原因で、macOS 10.15 でモニターのキーボード入力に関する警告が発生しました。 このプラグインを使用しない場

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

合、Cisco では、ヘッドセットのコール制御 (応答、拒否、保留、再開) をサポートしません。

プラグインの修正がある場合は、Cisco はそのプラグインを Jabber に再追加します。

Cisco 700 シリーズヘッドセットを使用した Windows 10 のクラッシュ

Cisco 700 シリーズのヘッドセットを使用すると、Windows OS のクラッシュ (ブルースクリーン) が発生することがあります。 これは、Windows 10 バージョン 1803 以前のバージョンで発生します。 この問題を修正するには、新しいバージョンの Windows 10 に更新してください。

ミーティング番号によるミーティング参加

Webex Meeting Server を使用する展開では、Webex で参加する際に会議番号は使えません。 代わりにミーティング URL を使用します。

転送ファイル名の 168 バイトの制限

ファイルを転送する際、ファイル名は拡張子を含めて 168 バイトを超えてはなりません。 制限より長い名前のファイルを送信しようとすると、168 バイトを超えたことが通知されます。

制限事項と社内展開の制限

これらの制限は、オンプレミスの Mac 版 Jabber の展開に適用されます。

Sennheiser プラグインに関するポート競合

Sennheiser プラグインを使用するコール制御は、デフォルトでポート 8001 を使用します。 別のアプリケーションがこのポートを使用すると、問題が発生する場合があります。

この回避策として、EPOS SDK のポート番号パラメータを適切なファイル内の別のポートに変更することができます。

- Windows–%LOCALAPPDATA%\Sennheiser\SDKCore\PDS\config.dat
- Mac–/Library/Application Support/Sennheiser/SenncomSDK/secomSFSDK.dat

注意: これらのファイルに関する詳細については、Sennheiser にお問い合わせください。

Jabber をシャットダウンしてから、SDK のポートを変更します。 次に、ポートを変更した後に Jabber を再起動します。

Jabber for Android の制限事項

これらの制限は、Android 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての Android 版 Jabber の展開に適用されます。

Android 版 Jabber がロケーション情報を受信しない

アプリケーションがバックグラウンドで実行されている間、デバイスのロケーション情報が共有されない。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

続に送信されるチャット メッセージが失われます。 この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

Android 版 Jabber は OS と同時にスタートしません

リリース 12.7 では、Android 版 Cisco Jabber は、OS を使用した自動起動をサポートしていません。

Webex サイトの免責事項がミーティングに参加するときに表示されません

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。 この制限は、会議リマインダポップアップからの参加、または Jabber での Webex の参加の選択のいずれかに適用されます。

Chromebook Camera がすでに使用されている場合にビデオコールが開始されません

Android 版 Jabber は、他のアプリがカメラを使用している場合は、Chromebook からビデオ通話を開始できません。

ボイスメールサーバで不在着信の URI が表示されない場合があります

Cisco Unity Connection の制限のため、Voice Mail サーバは不在着信の URI を表示できません。 この問題は、URI からかけられた Cisco Jabber 着信通話を拒否し、発信者がその通話をVoice Mail に回したときに発生します。 発信者の連絡先情報に URI しか含まれない場合、Voice Mail サーバに発信者不明と表示されます。 連絡先情報に URI と電話番号が含まれている場合、Voice Mail サーバにその連絡先の番号が表示されます。

ビデオコールを開始すると音楽アプリの再生が継続されます

サードパーティのアプリを使用してバックグラウンドで音楽を再生しているときに Android 版 Cisco Jabber のビデオ通話を発信または受信すると、音楽が一時停止または再開されません。 この問題を回避するには、サードパーティのアプリを開いて、音楽を一時停止および再開します。

MRA 上での通話に関する音声の問題

2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して Android 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。

Cisco AnyConnect および SafeNet MobilePASS と競合

同じデバイス上で、 Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアントとセーフネットの MobilePASS ワンタイム パスワード、そして Android 版 Cisco Jabber を使用すると、これらのアプリケーション間の互換性に起因する問題が発生する恐れがあります。 たとえば、 Android 版 Cisco Jabber 通信中に音声も片通話も聞こえない、あるいは、転送した場合には遅延が発生する、という可能性もあります。

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、1 つずつ解決します。 結果として、エンタープライズ グループをユーザの連絡先リストに加える際–または、ローカル キャッシュを消去する場合–その上をホバーするか、またはその連絡先と相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco Unified Communications Manager 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できます。

- RSA のみ
- EC のみ
- EC 優先
- RSA バックアップ

Jabber による EC のみのオプションをサポートしていないため、それを選択するとクライアントがサーバーへの接続に失敗する場合があります。

MRA 非 SSO 環境でのネットワーク再接続

SSO 非対応のモバイルおよびRemote Access環境で、Jabber が Cisco VCS Expressway サーバへの接続を失ってから次の接続リクエストを送信するまでの間隔は 120 秒です。 この間隔は、複数のクライアントから、サーバへ複数のリクエストが送信されるのを防いでいます。 この 120 秒間はネットワーク接続がアクティブであったとしても、Jabber は非アクティブの状態となります。

Samsung に監視対象外のアプリリスト

Jabber を初めてインストールすると、Samsung デバイスによって Jabber は自動的に監視対象外のアプリリストに追加されます。 デバイスは、バックグラウンドで動作している間、監視対象外のアプリをスリープ状態にはしません。 しかし、Samsung OS をモニターされていないアプリリストのあるバージョンからアップグレードする場合は、Jabber をモニターされていないアプリリストに手動で追加する必要があります。

Cisco TelePresence Video Communication Server Control 8.10 以前

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control（VCS）では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよびRemote Accessで Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングル ナンバー リーチを有効にする必要があります。 詳細については、『Cisco Jabber 向け機能設定ガイド』の「Single Number Reach を有効にする」項に記載されている制限事項を参照してください。

Jabber による SSO モードでのサインインの問題

ユーザ が SSO モードでの Cisco Jabber へのサインインに問題がある場合、ユーザは Android System WebView と Chrome ブラウザ をアップグレードして問題を解決する必要があります。 ユーザは、Google Play Store から Android System WebView および Chrome ブラウザをアップグレードできます。

HTTP 基本 SAML SSO 認証

[Jabberをリセット] オプションを使用してユーザーを切り替えると、サインインに失敗する可能性があります。Cisco Jabber をリセットし、Android OS のアプリケーションを完全に停止してからやり直してください。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Tel://URI 機能との問題

URI ダイヤルをサポートするサードパーティ製アプリケーションの数が多いため、すべてのサードパーティ製アプリケーションでこの機能の相互運用性を保証することはできません。 サードパーティ製アプリケーションには、tel:// リンクをクリックし Android 版 Cisco Jabber を選択して発信できる機能を持つものがあります。

転送ファイル名の 168 バイト制限

ファイルを転送する際、ファイル名は拡張子を含めて 168 バイトを超えてはなりません。 制限より長い名前のファイルを送信しようとすると、168 バイトを超えたことが通知されます。

リリース 10.6 から SRST はサポートされていません

Security Survivable Remote Site Telephony (SRST) は、Cisco Jabber for Android リリースでは、サポートされていません 10.6 以降と共に使用してください。

無効な証明書の接続の問題

Cisco Unified Communications Manager 11.0 およびそれ以降のバージョンでは、無効な証明書をすぐに受け入れないと、サーバの接続に問題が発生する場合があります。 10 秒でプロンプトが表示されたときに無効な証明書を受け入れない場合、一部の HTTPS 接続では、設定の一部をダウンロードできない、電話サービスまたはボイスメールに接続できないなどの問題が発生している可能性があります。

SSO モードでの Jabber 上の Android Webview の影響

Android Webview がリセット、アップグレード、再起動をするとき、SSO アカウントのユーザの場合、Jabberは動作を停止します。

転送されたファイルの圧縮

ファイル転送中は、JPEG ファイル形式のファイルのみが圧縮されます。

12.7 からの自動認証はサポートされていません

リリース 12.7 から起動時の自動認証はサポートされなくなりました。

コールの応答時に wi-fi がオフになっています

コールのドロップを回避するために、携帯電話ネットワークでコールに応答すると、JabberがWi-Fi をオフにします 。

Jabber for iPhone および iPad の制限事項

これらの制限は、iPhone および iPad 版 Jabber クライアントに適用されます。

すべての導入の制限事項

これらの制限は、すべての iPhone および iPad 版 Jabber の展開に適用されます。

MRA への移行中のチャットの動作

Jabber クライアントがオンプレミスのネットワーク接続から MRA ネットワーク接続に、またはその逆の接続に送信されるチャット メッセージが失われます。 この移行期間中にチャット メッセージを送信しようとするときに、ユーザにエラー メッセージが表示されます。

CMS ミーティングの参加者 450 名までの制限

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

1 回の CMS ミーティングで最大 450 名まで参加できます。

IOS 13 の新しい Apple 証明書の要件

Apple では、iOS 13 において、信頼できる証明書に関する新しい要件があります (https://support.apple.com/en-us/HT210176 を参照)。 Unified Communications Manager (Unified CM)、IM およびプレゼンス、および Expressway サーバがこれらの要件を満たしていることを確認してください。 証明書がこれらの要件を満たしていない場合、Jabber がセッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。

Jabber から参加すると Webex サイトの免責事項が表示されません

Jabber から Webex ミーティングに参加する場合、Webex サイトの免責事項が表示されることはありません。 この制限は、会議リマインダポップアップからの参加、または Jabber での Webex の参加の選択のいずれかに適用されます。

2G、3G、および 4G ネットワークを介した MRA の音声に関する問題

2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。

Cisco TelePresence Video Communication Server Control 上の MRA を使用した単一番号リーチ

Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) バージョン 8.10.X 以前の適用

Cisco Jabber を使用するモバイルおよび Remote Accessを使用しているユーザに対して、単一の番号リーチを有効にするための編集可能な受信ルールを設定します。 詳細については、『Cisco Jabber 12.0 向け機能設定ガイド』の「Single Number Reach を有効にする」項、「制限事項」を参照してください。

[お気に入り] アイコンが電話機のみのアカウントで表示されない

Cisco Jabber のモバイルクライアントでは、電話専用アカウントのユーザにお気に入りアイコンが表示されません。

Jabber で必要な Apple のプッシュ通知

Apple プッシュ通知 (APN) がない場合、Jabber が着信通知やチャットを受信しても、iOS は Cisco Jabber を起動しません。 数分後、または Cisco Jabber が前景に撮影されたとき通話やインスタント メッセージがデバイスに表示されます。 回避策として、[設定] **>** [一般] **>** [リセット] **>** [ネットワーク設定をリセット] の順に選択し、iOS デバイスのネットワーク設定をリセットします。

電話サービスサーバの編集

ユーザーは、ハイブリッド クラウド モードで彼らがいる場合を除き、手動で電話サービス サーバーをもはや編集できます。 ハイブリッド展開では、管理者は編集可能に電話サービス サーバーを構成できます。

セキュアな電話機の機能のための証明書のインストール

セキュアな電話機能を適切に有効にするには、最初に企業ネットワークまたは VPN で適切な証明書のインストールをします。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

ボイス認識ボイスメール (Voice PIN)
ボイスメールの音声認識は、バックグラウンドでの雑音に非常に敏感です。 システムは、ユーザが何も入力しない場合でも、背景雑音をユーザ入力として認識することがあります。 この機能を無効にするには、『Cisco Unity Connection 向けシステム管理ガイド』を参照してください (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-maintenance-guides-list.html)。

Unified CM を搭載した中間証明機関を使用しないでください
Unified CM で中間認証局の証明書を使用する場合の証明書検証期間。中間認証局ではなく、ルート認証局で署名された証明書を使用します。

Jabber アカウント関連ファイルは、iCloud および iTunes ではバックアップされません。
リリース 10.5 以降、すべての Cisco Jabber アカウント関連ファイルは、プライバシー上の理由により、iCloud および iTunes にはバックアップされません。 この制限には、設定、連絡先、資格情報、履歴、ログ、写真などのファイルが含まれます。

Unified CM でデバイスを設定する場合は、「EC のみ」キーの順序を使用しないでください
Unified CM 11.0 でユーザのデバイスを作成している場合、キーの順序を、RSA のみ、EC のみ、または EC 優先で RSA バックアップに指定できるようになっています。 ただし、Jabber はEC のみのオプションをサポートしていません。 これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

デバイスがネットワーク間を移動すると、Jabber の再接続が低速になる可能性があります。
ユーザーがネットワーク間を移動しようとする場合、たとえば、WiFi から 3G など、バックグラウンドで Jabber を使用すると、クライアントをサーバーから切断します。 クライアントが数分間再接続しない場合、不在着信につながる可能性があります。 ミスコールを避けるために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。

中国では CallKit を利用できません
CallKit 機能は中国では政府/自治体 規制により無効です。

最大限の信頼性を得るため、iOS では単一番号リーチを使用
ユーザがコールの通知で 100% の信頼性を必要とする場合は、iOS 上で実行される Cisco Jabber の単一番号リーチ (SNR) 機能を有効にします。 SNR では、次の制限が緩和されます。

- iOS はリソースを保全するため、バック グラウンドで実行されている Cisco Jabber および他のアプリケーションをシャット ダウンする場合があります。 クライアントが再起動しようとすると、不在着信となる可能性があります。 影響を最小化するために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。
- Apple プッシュ通知 (APN) を使用しない場合、デバイスは、スリープモードの時に、Wi-Fi データネットワークからモバイル音声ネットワークに接続を切り替える場合があります。 この問題が原因で、不在着信となっている可能性があります。 この問題を防ぐためには、[iPhoneの設定] に移動し、[携帯電話のデータ] をオフにするか、[SNR] をオンにします。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

- オンデマンド接続が有効であり、ユーザーがネットワークを変更する場合に、VPN を切断できます。 iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は、VPN を介して再接続するまでに 11 分かかることがあります。 この問題は、着信のミスコールにつながる場合があります。 これは、Wi-Fi 信号が安定していない場合、または、モバイルネットワークが優先され Wi-Fi とモバイルネットワークを切り替える場合で、Jabber は移行中のために電話機に迅速に接続することができない場合に発生します。 クライアントの再接続後、アカウントでVoice Mail を有効にしているユーザは、Voice Mail に行ってしまったすべての不在着信についてのVoice Mail 通知を受け取ります。 再接続する時間を最小限に抑えるため、ユーザーは接続環境を変更した後に、アプリをフォアグラウンドに移動することができます。 影響を最小化するために、Apple プッシュ通知サービスを有効にします。

iOS の Dial Via Office Reverse（DVO-R）

Unified CM で Dial via Office を Reverse （DVO-R）に設定している場合、次の内容を検討してください。

- モバイルネットワークに接続できるデバイスである必要があるため、この機能は iPhone のみに適用され、iPad や iPod Touch のデバイスはサポートしていません。
- この機能を使用するには、Unified CM がリリース 8.6.2 SU4、9.1.2、または 10.x である必要があります。
- 社内ネットワークの外部にいる場合は、Expressway for Mobile and Remote Access 経由で DvO-R コールを行うことができます。 DVO-R は、 Cisco Expressway X8.7 上および Unified CM 11.0(1a)SU1 でサポートされています。
- DVO が有効になっているデバイスは、Unified CM 8.6 以上での登録時に問題が発生する恐れがあります。 Unified CM 管理デバイスから該当するデバイスをリセットすると、この問題が修正されます。
- この機能は、セキュアコール機能とともに使用することはできません。 DVO-R が有効な場合、セキュアコールを確立できません。
- Cユーザが SIP トランク経由で無効な電話番号に DVO-R 発信をかけると、Unified CM の制約のため、その番号が無効である旨の音声メッセージは流れずに数秒無音になります。

iPhone: パケット損失時の CM ノードフェールオーバーの問題

iPhone の Cisco Jabber がパケット損失のためにプライマリのサブスクライバに到達できない場合、セカンダリの CM ノードにフェールオーバーしません。 詳細については、 CSCux83785をご覧ください。

iPhone: 着信モバイルコールは Unified CM コールを保留にします

Unified CM 通話でユーザにモバイルからの着信通話があると、iPhone が鳴りはじめ、ユーザにモバイルからの着信通話に応答するかしないかを促します。 これと同時に、 Cisco Jabber 上の Unified CM 通話は自動的に保留されます。

iPhone が着信通話を受信すると、自動的に他のすべてのアプリケーションでマイクが無効になります。 現在の通話相手へ別の通話に応答する必要があることを知らせる時間はありません。 新しい着信を受け入れると、Unified CM 通話は自動的に保留になり、iPhone の通話を終了するまで元の通話に戻ることはできません。 この問題を回避するには、着信を受け取らずに、再開をタップすると現在の発信者と再び会話ができるようになります。 お使いのデバイスがロックされている場合、Sleep/Wake ボタンの On/Off を素早く2回押して着信を拒否し、再開をタップします。

iPhone: Jabber のサウンド設定を有効にします。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Jabber のチャットと着信を逃さないようにするには、[iOS設定] **>** [通知センター] の順に選択し、[Cisco Jabberの音声設定] がオンになっていることを確認します。

iPhone: VoIP コール中に受信した Unified CM 通話がボイスメールに送信されました

Unified CM 通話を受信した場合、VoIP 通話を配置しているときに、クライアントは着信コールをボイスメールに送信します。 Voice Mail がない場合には、Jabber はその着信を無視します。

iPhone: アドホック会議の最大参加者

アドホック会議の参加者の最大人数は、TCT デバイス発信の最大人数である 3 人に制限されています。Unified CM で、アドホック会議の最大参加者数を構成するには、[サービスパラメータの構成] **>** [クラスター全体のパラメーター] **>** [必要な最大アドホック会議] の順に選択します。

iPhone: 一部の接続で品質の問題が発生します。

企業内の Wi-Fi や企業内のモバイル データ ネットワークではない場合、音声とビデオの品質は保証されません。

ビデオ通話の品質は、ネットワーク接続によって異なります。 Cisco Technical Assistance Center（TAC）は、3Gまたは4Gネットワークを使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber をCisco AnyConnectセキュアモビリティクライアントまたは別のVPNクライアントと接続する場合、ビデオ品質のトラブルシューティングを行うことができません。

iPhone–SIP ダイジェスト認証

SIP ダイジェスト認証はサポートされていません。

iPhone: ディレクトリソースとしての Unified CM のデバイスキャパシティ

ディレクトリ ソースとしての Unified CM は、Unified CM のノードが処理できるデバイスのキャパシティの 50%までスケーリングが可能です。

iPhone–デバイスがロックされたときの通話通知

デバイスが応答不可 (DND) モードでロックされている場合、 Cisco Jabber 着信を受信すると振動します。

iPhone: バックグラウンドでの数時間後の Jabber Relaunches

バックグラウンドで数時間経つと、Jabber は通知なしで再起動します。

Apple Watch: コール通知を行わない

iOS 10 で Cisco Jabber 11.8 を使用している場合、CallKit が Apple Watch では動作しないため、Apple Watch で着信通知を受け取ることができません。 これは Apple iOS の制限です。

iPad: ネットワーク移行時の不正確なステータス

ユーザがネットワーク間を移動していると、応答可能性ステータスが正確に示されない場合があります。

Cisco abber と Cisco TelePresence System

TelePresence またはビデオ ブリッジを使用してデバイスに接続する場合、 Cisco TelePresence System(CTS) デバイスにより、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は相互運用性と最大限のビデオ品質をサポートします。ビデオ通話に参加するために使用できるデバイスの数は、マルチポイント コントロール ユニット (MCU) と会議ブリッジで定義されている設定によって異なります。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

CTS の相互運用に必要なバージョンと設定
VCS コール制御環境については以下のとおりです。 1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。
Unified CM 通話制御環境: • 1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。 • iPad および CTS のメディア領域を作成するには以下の手順に従ってください。 a. 2 つの領域のうち、1 つ目は CTS 用でビデオ通話の最大ビットレート 3200 Kbps、2 つ目は iPad 用でビデオ通話の最大ビットレート 758 Kbps でプロビジョニングします。 b. 手順 1 で説明した CTS リージョンから iPad リージョンへのリージョン関係を作成し、ビデオ通話の最大ビットレートを 512 Kbps に設定します。
VCS のファームウェアとハードウェア コーデックのバージョンを確認するには、 Cisco TelePresence System 管理のデバイス情報画面を確認します。

セットアップの詳細については、Unified CM 管理ドキュメンテーションを参照してください。

iPad: 連絡先のブロックと削除

自分の組織内のユーザーの連絡先をブロックすることはできません。

IPad 以外のデバイスで連絡先のグループを削除しても、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber には変更がすぐに表示されない可能性があります。 変更を有効にするには、サインアウトし、サインインします。

iPad: 現在の操作が完了する前に Jabber をバックグラウンドに送信しません。

[Webex ミーティング] でサインインやタップなどの操作をして、会議を開始する場合、その操作が完了する前に iPhone および iPad 版 Cisco Jabber をバックグラウンドに移すと、アクションを正常に完了できません。

iPad: Webex ミーティングを開始します。

[Webex ミーティング] をタップして会議を開始する場合、システムは、会議の開始時点もしくは会議開始時または 60 秒経過した時点で、会議の招待状を送信します。

iPad: Jabber がバックグラウンドに登録されているとき、録音インジケータが誤って起動します。

Cisco Jabber 通信中に Cisco Jabber をバックグラウンドに移動させると、IOS バージョンによっては発信インジケータが Cisco Jabberが録音中である旨を表示することがあります。

複数リソースのログイン

ユーザーが、クライアントの複数のインスタンスに同時にサインインした場合、チャット機能は次の動作をします。

- 最初のチャットの受信中のメッセージは、すべてのクライアントに送信されます。
- 受信チャット メッセージに応答する最初のクライアントが、後続のすべてのメッセージを取得します。他のクライアントは、これらの後続の受信メッセージを取得できません。
- クライアントがチャット機能を 5 分間の使用しないときに、次の受信メッセージはすべてのクライアントに再び送信されます。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に 1 つずつ解決します。 結果として、エンタープライズ グループをユーザの連絡先リストに加える際–または、ローカル キャッシュを消去する場合–その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

転送ファイル名の 168 バイト制限

ファイルを転送する際、ファイル名は拡張子を含めて 168 バイトを超えてはなりません。 制限より長い名前のファイルを送信しようとすると、168 バイトを超えたことが通知されます。

不具合

バグを検索する

ここに記載されていないバグを検索するには、バグ検索ツールをご利用ください:

1. バグ検索ツールにアクセスするには、https://tools.cisco.com/bugsearch/search にアクセスします。
2. 自分の Cisco.com のユーザー ID とパスワードでサインインします。
3. 具体的な問題に関する情報を検索するには、[検索対象] フィールドにバグ ID を入力して、Enter キーを押します。 また、製品ごとに検索してリリースすることもできます。

詳細はバグ検索ページ右上のヘルプを選択してください。

バグの深刻度レベル

既知の欠陥、つまりバグには、欠陥の優先順位を示す重大度レベルがあります。 これらのリリースノートには、次のバグタイプが含まれています。

- 重要度レベル 1 または 2 のバグすべて
- 顕著な重要度レベル 3 のバグ
- 重要度 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重要度	説明
1 壊滅的	一般的な状況では、システム全体が失敗したり、主要なサブシステムが動作を停止したり、ネットワーク上の他のデバイスが中断したりすることがあります。 回避策はありません。
2 重大（Severe）	重要な機能は使用できず、回避策も存在しません。 他の機能とネットワークの残りの部分は正常に動作しています。
3 中程度（Moderate）	エラーは異常な状況で発生するか、またはマイナー機能がまったく機能しないか、または他の障害が発生しますが、影響が少ない回避策が存在します。 この重要度はドキュメンテーションバグの最上位レベルです。
4 軽微（Minor）	異常な状況ではエラーが発生しますが、操作は基本的に介入なく復旧します。 ユーザーは回避策をインストールする必要がなく、パフォーマンスへの影響も許容できます。
5 表面的（Cosmetic）	欠陥がシステムの機能に悪影響を及ぼすことはありません。
6 強化	新機能または機能改善の要求。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Jabber for Windows の問題

リリース 15.3.1 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCww12814		
CSCww36288	S3	遠端の録音レッグ - Jabber から RTP は送信されません
CSCww36300	S3	Jabber 15.2.3 の音声が、Jabber 間通話中に映像より遅れて再生されます
CSCwv99198	S3	録音用レッグの一方で通話録音が断続的に失敗します。

リリース 15.3 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCwt78615	S3	Jabber BiB が、やりとりの録音レッグから NICE Engage に RTP を送信しません 録音サーバ
CSCwt61363	S2	Jabber がメッセージ送受信後にクラッシュします
CSCwi99573	S3	ジャバーは SIP From ヘッダーの表示名に「<」がある場合に通話を拒否します
CSCwu78674	S3	常設チャットルームで検索すると、Jabber がクラッシュします

Jabber for Mac の問題

リリース 15.3.1 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCww12814		
CSCww36288	S3	遠端の録音レッグ - Jabber から RTP は送信されません
CSCww36300	S3	Jabber 15.2.3 の音声が、Jabber 間通話中に映像より遅れて再生されます
CSCwv99198	S3	録音用レッグの一方で通話録音が断続的に失敗します。

リリース 15.3 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCwi99573	S3	ジャバーは SIP From ヘッダーの表示名に「<」がある場合に通話を拒否します

Jabber for Android の問題

リリース 15.3.1 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCww12814		
CSCww36288	S3	遠端の録音レッグ - Jabber から RTP は送信されません
CSCww36300	S3	Jabber 15.2.3 の音声が、Jabber 間通話中に映像より遅れて再生されます
CSCwv99198	S3	録音用レッグの一方で通話録音が断続的に失敗します。

© 2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

リリース 15.3 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCwu48567	S3	Jabber Android DVO が有効な場合、Voice over IP が設定されているときに携帯電話から入電します
CSCwi99573	S3	ジャバーは SIP From ヘッダーの表示名に「<」がある場合に通話を拒否します

Jabber for iPhone および iPad の問題

リリース 15.3.1 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCww12814		
CSCww36288	S3	遠端の録音レッグ - Jabber から RTP は送信されません
CSCww36300		
CSCww06570	S3	Iphone で Jabber Push Notifications(LPNS) がエラーになります
CSCwv99198	S3	録音用レッグの一方で通話録音が断続的に失敗します。

リリース 15.3 で解決済みの問題

バグ番号	重大度（Severity）	見出し
CSCwi99573	S3	ジャバーは SIP From ヘッダーの表示名に「<」がある場合に通話を拒否します

法的情報

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Cisco の商標の一覧を表示するには、http://www.cisco.com/go/trademarks にアクセスしてください。 記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。 「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。 (1110R)

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。 ★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.